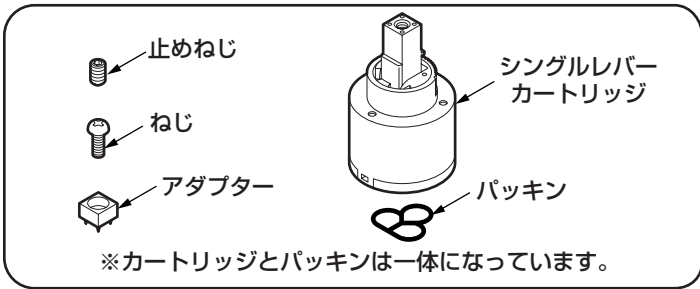


シングルレバーカートリッジ

THF7型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1 部品の確認



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

2-1 取替方法

1 止水栓または元栓を閉める
湯側・水側の止水栓または元栓を閉める。

重要

2 レバーハンドルの取り外し

注意
レバーハンドルのタイプに注意して、そのタイプに応じた要領で取り外してください。

ワンタッチアダプタータイプ
レバーハンドルを上へ引き抜く。

前面ねじ止めタイプ

- ①レバーハンドル正面のインデックスを先の細いマイナスドライバーなどで取り外す。
- ②レバーハンドルを上げる。
- ③インデックスを外した穴の奥にある止めねじを、プラスドライバーまたは六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外し、レバーハンドルを上方向へ引き抜く。

プラスねじと六角ねじ(対辺3mm)があります。それぞれにあった工具をご使用ください。

上面ねじ止めタイプ

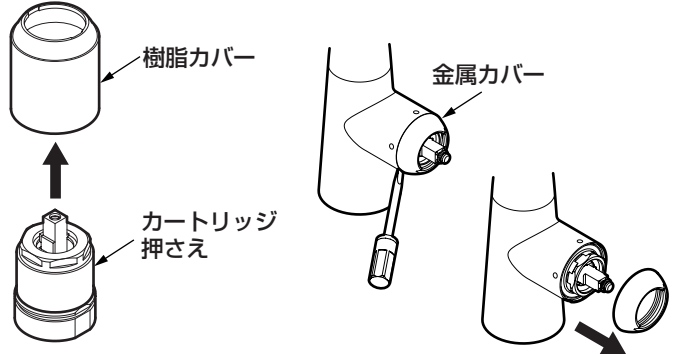
- ①レバーハンドルのキャップをマイナスドライバーなどで外す。
- ②ねじをゆるめてレバーハンドルを外す。

2-2

3 カバーの取り外し (カバー付きタイプのみ)

樹脂カバー付きタイプ
樹脂カバーを手でつかみ、上向きに真っすぐ引き抜く。

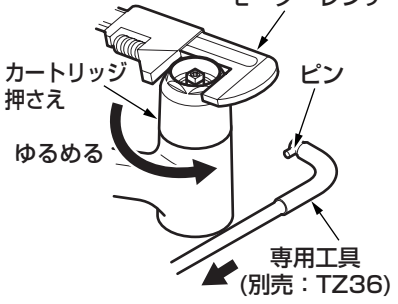
金属カバー付きタイプ
マイナスドライバーなどでカバーを取り外す。



4 カートリッジ押さえの取り外し

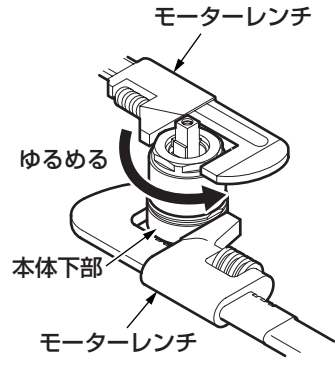
注意
カートリッジ押さえのタイプに注意して、そのタイプに応じた要領で取り外してください。

モーターレンチなどでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。



注意
本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売: TZ36)で水栓が回らないようにしてゆるめてください。
水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

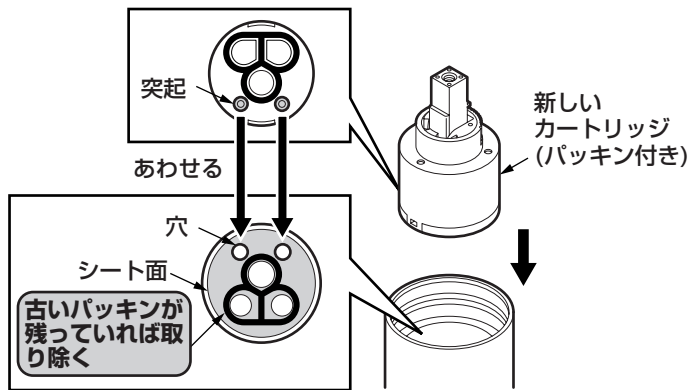
樹脂カバー付きタイプ



注意
樹脂カバー付きタイプは本体下部の二面取りをモーターレンチなどで固定し、水栓が回らないようにしてゆるめてください。
水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

5 カートリッジの交換

- ①カートリッジを取り外す。
- ②シート面に古いパッキンが残っていないか確認する。残っていれば確実に取り除く。
- ③新しいカートリッジ(パッキン付き)の下部の突起と水栓の穴をあわせて押し込む。

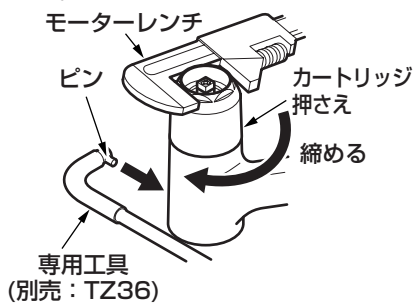


6 カートリッジ押さえ取り付け

注意

カートリッジ押さえのタイプに注意して、そのタイプに応じた要領で取り付けてください。

モーターレンチなどでカートリッジ押さえを確実に締め込む。

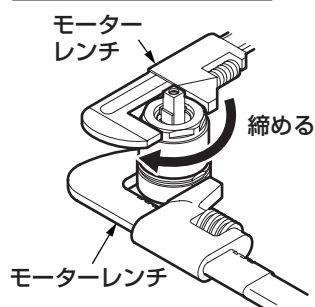


注意

本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売: TZ36)で水栓が回らないようにして締め込んでください。

水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

樹脂カバー付きタイプ



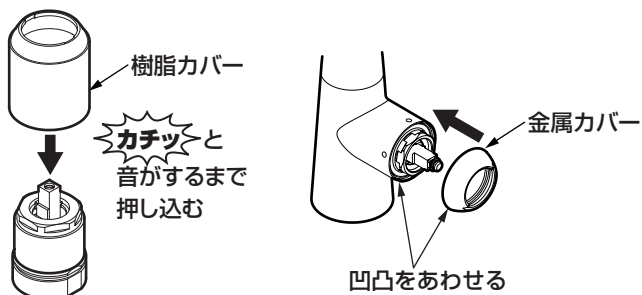
注意

樹脂カバー付きタイプは本体下部の二面取りをモーターレンチなどで固定し、水栓が回らないようにして締め込んでください。

水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

7 カバーの取り付け (カバー付きタイプのみ)

カバーを強く確実に押し込む。



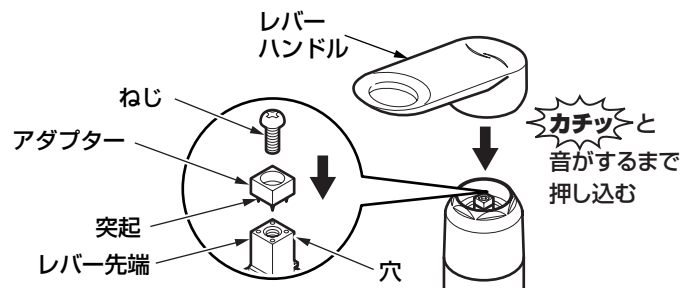
8 レバーハンドルの取り付け

注意

レバーハンドルのタイプに注意して、そのタイプに応じた要領で取り付けてください。

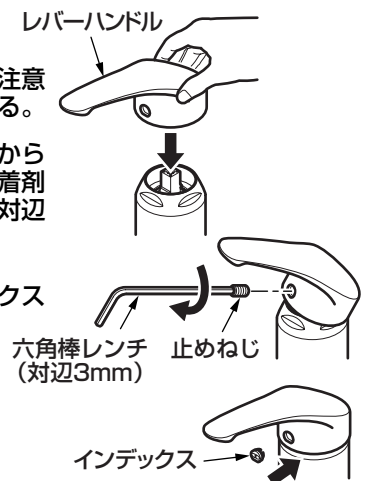
ワンタッチアダプタータイプ

- ①レバー先端の4つの穴とアダプターの4つの突起をあわせてねじで確実に締め込む。
- ②レバーハンドルの方向に注意し、「カチッ」と音がするまで強く確実に押し込む。
- ③レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。



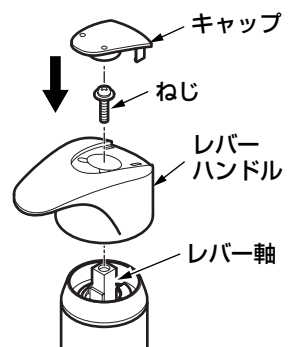
前面ねじ止めタイプ

- ①レバーハンドルの方向に注意し、水栓本体に取り付ける。
- ②レバーハンドル正面の穴から同梱の止めねじ(赤い接着剤付き)を六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付ける。
- ③方向に注意してインデックスをはめ込む。



上面ねじ止めタイプ

- ①レバーハンドルをレバー軸に差し込み、ねじで固定する。
- ②キャップをはめる。



注意

重要

カートリッジ交換後は、必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性に問題がないか、また、水漏れがないか確認してください。